

「 ヴィジョンを持つということ 」

ヴィジョンとは遠くにあるものではなく、私たちが踏んでいるその足元にある。
 遠くにあるものを見ながら、今この一瞬や現実の足場を直視しなければならない。
 それゆえに、私たちの生活は、理想主義的なものでありながらも現実的でなくてはならない。
 今日に生きることが、明日に、あるいは来年、さらにその先の将来につながる。

(いのちの言葉 日野原 重明より)



新年あけまして おめでとうございます。

ご家族皆様のもとに素敵な一年が訪れますようお祈り申し上げます。

白、紫、黄色と彩り豊かなビオラが花壇を賑わせ、冷たい北風をものともせず嬉しそうに踊っているかのように揺れている姿が愛らしく心がほっこりと温かくなります。植物は時期に合わせて植え付けをすることでしっかりと根を張り、照りつける太陽の暑さや真冬の寒さにも耐えられ、綺麗で逞しい花を咲かせるそうです。

私たちが、どんなに厳しい環境にあっても自分らしく、生き生きと充実した生活を送るために、まずは何をしたいか、どうしたいか、じっくりと考える時間を作り、目標や夢を持つことが大切になります。そして、実現させるために自分自身や心を振り返り目的意識を持ち、どうすべきか？ どう行動に移すか？が必要になるのではないのでしょうか。

園生活における子どもたちの援助を考えた時、一人ひとりの発達や発育に応じた機会を逃さず、花が根を張るように、焦らずゆっくり、のびのびと成長していける環境を整え、やわらかくやさしいジョウロのシャワーのように愛情をいっぱい注いであげたいと思っています。もし、くじけそうになったり、諦めそうになっても、のり越えられる精強な心を育て、健気で可憐なビオラの如く花を咲かせて欲しいと願います。

子どもたちの心の動きや興味に寄り添い「楽しそう」「やってみたい」の好奇心や挑戦する気持ちを日々の遊びや手作りおもちゃを通し、育てていきたいと考えています。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子 職員一同

1月聖句

求めなさい。そうすれば、与えられる。

マタイによる福音書 7章 7節

1月主題

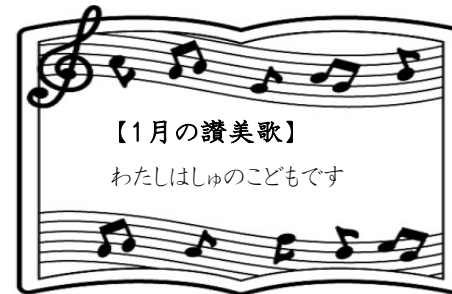
「じっくりと」0歳

- ・保育者と一緒に神さまに祈る。
- ・好きな遊びを楽しむ。
- ・まめに喚起をし、外気に触れる機会をもつ。

0歳児 mer(海)組の子どもたちの姿～

新しい年が始まり、久しぶりに会った子どもたち。休みが楽しく過ごせたようで、元気な笑い声と明るい笑顔が見られ嬉しく思います。

牛乳パックで作ったコマにクレヨンで線を描いたり、色紙を貼りつけたりする姿は真剣そのもので、出来上がると表情は一変し、くるくる回る様子に顔を近づけ「わー」と声を上げていました。自分でもやってみようと何度も繰り返していくことで少しずつコツをつかみ、うまく回ると「やったー」とジャンプして嬉しさを表現したり、回転しているコマを一生懸命手で止めることに夢中になる姿もみられました。昔から伝わる伝統行事や伝承遊びも大切にしながら、製作物で工夫し遊ぶ楽しさも味わっています。



【1月の讚美歌】

わたしはしゅのこどもです



【1月のうた】

お正月
ゆき
やぎさんゆうびん

	月	火	水	木	金	土	日
1月の予定表		1 元旦	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14 成人の日	15 身体測定	16	17 避難訓練	18	19	20
	21	22	23	24	25 誕生会	26	27
	28 クレイシュ通信	29	30	31			
	◎持ち物の名前の確認を宜しくお願い致します。						